

## ■ 通巻第4号



冊子名 さきがけ第2号

発行日 2013（平成25年）年6月1日

筆者名 杏里、霧谷 のあ、篠崎蓮、野生のペット、ゆうや

頁数/発行部数/サイズ 84頁/50部/B6版

主な内容 三行詩・文芸詩・俳句・短歌・散文・反省文

発想練習 ①風が吹けば～②⑩桶屋が儲かる

特別企画 『××風っぽく〇〇を伝える』

印刷所 株式会社栄光

装丁 オフセット本（サンバセットオンデマンドコース）

PPマット加工カラー表紙、前のみ遊び紙

販売価格 300円

備考 詩を1段組みにする。第2回福岡ポエイチ参加の為、発行を1ヶ月早くする。  
桶屋コメントを黒枠で囲ってみた。

### レイアウトについて

- ・全面写真（不評）、改善案を検討。 ・巻頭詩がやや長い、行数多い。
- ・三行詩の作品数が多すぎてギチギチする。→1ページ5作品を目安にする。
- ・GUN、fragment など、英語の作品が縦書きである事に違和感を覚える。→様子見
- ・文芸詩はフォントサイズを統一、極力見開き編集はしない方が良い。
- ・桶屋の作者名はもう少し目立つようにした方がいい。
- ・散文を全て右ページ始まりにしたのが見やすくなって良かった。
- ・篠崎蓮「春の術法師」が文字が小さすぎる（文章量の為）  
→短編小説の文字数制限がどのくらいか明確にして欲しい
- ・反省文は文字数で決めても改行の都合で文章量に差が出てしまう。  
→「縦×横」の文字数を決めて、その中の文字数を決める。

### 作品について

- ・巻頭詩「混ぜて」に違和感を感じる。 ・詩は全体的に雰囲気がかぶっていた。
- ・「カナヅチ」人気作。 ・「Sure! 違い図」が分かりにくかった。
- ・俳壇の「そうめんが」が面白い。野生のペット「蒲公英」からの3作品が人気。
- ・俳壇の季語の遣い方について、もう少し気を付けましょう。
- ・歌壇の「ホームラン」「生命保険」が人気。「第二次性徴」は男性には分かりにくい。
- ・特別企画が難しすぎた。偏見になるのではと恐れて書きづらかった。  
→回答者の制限を自由にしすぎず、縛りすぎず、適度なお題を決められるようにしたい。
- ・野生のペット「美しきかな、筋肉」は初めての作品としては非常に面白い。全くありがちでない設定・展開が良い。一人称と三人称が統一されていないので、基本的な小説の書

## 大反省会（4）

き方から直してほしい。次回に期待。

- ・篠崎蓮「春の術法師」舞台設定が分かりづらかった。現代の日本ということをもっとはっきりと最初に書いてあれば良かった。
- ・ゆうや「虹色クレパスと悲しい犬」の犬がかわいい。

### その他

- ・奥付の住所ミス「Sakigake-Japan-2012」→2013です。誤植チェックを二人体制に。
- ・野生のペットさんの短歌5首がミスにより掲載できず。→論外です。徹底して下さい。誰から何を何作品もらっているのか、送信者もメール本文に記載するよう、とにかく徹底を！